

なにか伝統野菜





「なにわ伝統野菜」とは？

- ①だいたい100年前から大阪府内で栽培されてきた野菜
- ②苗や種がきちんと伝わっており、現在も苗や種を手にいれることができる野菜
- ③現在も大阪府内で生産されている野菜

「なにわ伝統野菜」に含まれていないのは
かぼちゃ、なす、きゅうり、かぶらのうち
何でしょう？



こたえは **なす** です。

せんしゅうちく とくさんひん
水なすは泉州地区の特産品ですが

でんどうやさい
「なにわ**伝統野菜**」には含まれていません。



かぼちゃは**勝間南瓜**というかぼちゃが「なにわ**伝統野菜**」にありまして
むかし**勝間村**とよばれた大阪市**西成区玉出**あたりでとれたかぼちゃです。

勝間南瓜は ふつうのかぼちゃより小さく、たてのミゾとコブのあり、
はじめはみどり色ですが、だんだんオレンジ色になって
白いこながでてくると、あまくなり、おいしくなります。





種まき 5/28

苗をうえる 7/8



雄花



雌花



勝間南瓜



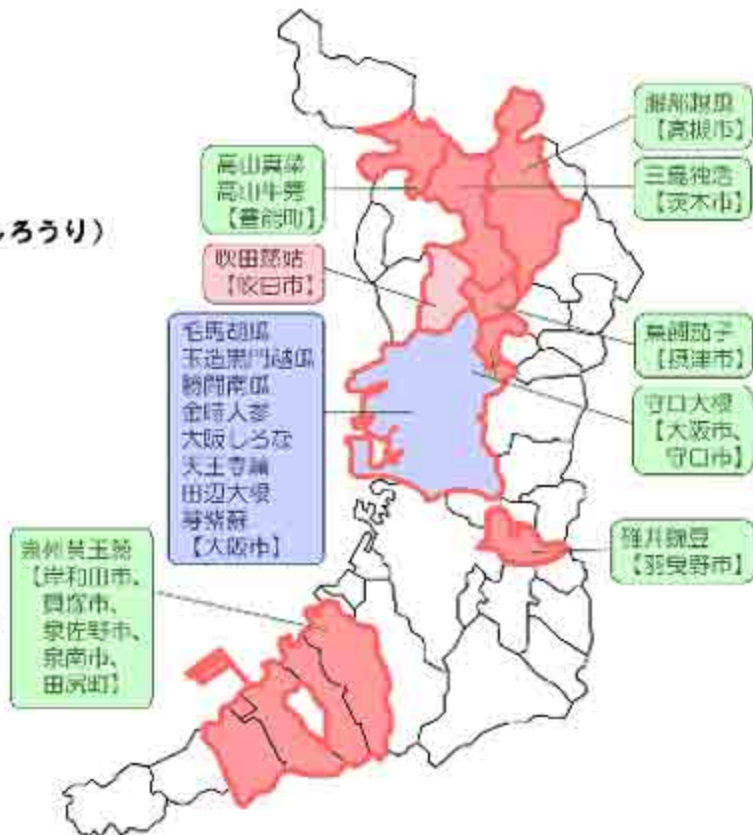
種のお見守り
石橋明吉さん

勝間南瓜は、今から100年くらい前はたくさんどれ、冬至のときに食べるかぼちゃでした。都市化によって産地が移動し、また戦後、GHQが西洋かぼちゃの種を農家に支給して、食料確保のため、勝間南瓜より大きくなる西洋かぼちゃにとってかわられ、勝間南瓜は作られなくなり途絶えてしまったそうです。

けれども平成12年に石橋明吉さんが和歌山の農家で偶然みつけ、種を発見されました。石橋さんと5月に植えた勝間南瓜は、自然観察学習園でどんどん大きくなり、たくさんの勝間南瓜が実りました。

なにわ伝統野菜 17 品目

- ・毛馬胡瓜（けまきゅうり）
- ・勝間南瓜（こつまなんきん）
- ・天王寺蕪（てんのうじかぶら）
- ・田辺大根たなべだいこん
- ・玉造黒門越瓜（たまつくりくろもんしろうり）
- ・金時人参（きんときにんじん）
- ・大阪しろな（おおさかしろな）
- ・芽紫蘇（めじそ）
- ・服部越瓜（はっとりしろうり）
- ・鳥飼茄子（とりかいなす）
- ・三島独活（みしまうど）
- ・吹田慈姑（すいたくわい）
- ・泉州黄玉葱（せんしゅうきたまねぎ）
- ・高山真菜（たかやままな）
- ・高山牛蒡（たかやまごぼう）
- ・守口大根（もりぐちだいこん）
- ・碓井豌豆（うすいえんどう）



大阪府が指定している「なにわ伝統野菜」は17品目ありますが
今、自然観察学習園で栽培している「なにわ伝統野菜」は



天王寺かぶら、田辺大根、大阪しろな、金時人参と
吹田くわいです。



雌花



雄花

夏には、毛馬きゅうりを栽培していました。

毛馬きゅうりは、都島区毛馬町の黒いぼきゅうりでふつうのきゅうりよりもしゃきしゃきとした歯ごたえがあつてみずみずしく、長さが30cm、太さ3cmと大きいきゅうりです。



この地図は今から100年位前のものです。

毛馬きゅうりの毛馬とはここです



実地踏測大阪市街全圖 明治44年版

勝間村の表示もあります。

大阪城の東側：天満には天満青物市場という市場があり、
八軒家浜から川を遡って京師や各地に出荷されていました。

天満物市場では、昔、農家でとれた野菜をもってきて、農家がそれぞれ店を出して取れたて野菜を売っていたそうです。





天満青物市場は、もともと滋賀県石山本願寺あたりにあった青物市場を、幕府参宮が大阪城落城の前から大阪に移転させ、1635年天満につくり、明治31年に中央卸売市場ができるまで栄えました。

Google マップ 住所: 大阪府大阪市阿倍野区神明通1-34



天王寺村



明治34年(1901年)、晴明丘小学校ができたのは、今から110年前のことでした。

今、晴明丘小学校は大阪府阿倍野区神明通1-34という住所ですが、そのころは、大阪府東成区天王寺村大字阿倍野字塚平で、晴明丘小学校は天王寺村の南にありました。

天王寺十景

孫列末成教上人の自記の著るる所社
か月くくくくと柱にあまのくも年ご如れ
か月くくくくと柱にあまのくも年ご如れ
か月くくくくと柱にあまのくも年ご如れ
か月くくくくと柱にあまのくも年ご如れ
か月くくくくと柱にあまのくも年ご如れ
か月くくくくと柱にあまのくも年ご如れ
か月くくくくと柱にあまのくも年ご如れ
か月くくくくと柱にあまのくも年ご如れ
か月くくくくと柱にあまのくも年ご如れ
か月くくくくと柱にあまのくも年ご如れ



天王寺十景

天王寺かぶらは、もともとは四天王寺さんのお坊さんが食べていたものだったそうで、今から400年くらい前の江戸時代にはおのころから、100年くらい前の明治時代のおわりまでの300年間、天王寺村の名物として全国的に知られていました。ところが明治35～36年頃、天王寺菜、は虫の害などで、どんどん大阪では姿を消してしまっただけでなく、この絵は天王寺かぶらをお土産にするために干しているところで、天王寺村ではいたるところでみうけられました。



大阪では姿を消していた天王寺かぶらでしたが、長野県では野沢菜というおつけものが有名です。

長野県野沢温泉村の健命寺の和尚さんが京都にきたときに天王寺かぶらの美味しさに驚いて種を持ち帰り、お寺の畑で栽培したのが始まりで、長野県の野沢村では誰もが野沢菜の発祥は天王寺かぶらと知られています。





10/2 天王寺かぶら、田辺大根種まき



12/8 収穫とおつけものづくり



11/18

天王寺かぶら



田辺大根



12/11 ふれあいもちつき おつけものブース

自然観察学習園



10/2 天王寺かぶら、田辺大根種まき

啓明小学校の自然観察学習園で育った天王寺かぶらは、
12/11ふれあいもちつき大会でお漬物になりました。
はるか時を越えてこの地にもどってきたといえるでしょう。



12/8 収穫とおつけものづくり



12/11 ふれあいもちつき おつけものブース



吹田くわい



金時人参



Google マップ 住所 大阪市大東市阿倍野区精華通11



守口大根



「天下の台所」大阪にはむかしからたくさん
の食材がありました。

食い倒れの街で、また 毎日の食卓で
大阪の”まったりとした味” みつけましょう





「なにわ伝統野菜のはなし」



2010.12.17

5年1組で「なにわ伝統野菜の話」をするために作成したフリップです。
このあと自然観察学習園にてベビーバスを埋め、吹田くわいを植えました。